

平成24年度博物館施設評価シート

施設名 嵐山史跡の博物館

評価基準	
目標値の達成度(100%以上)	A
目標値の達成度(80%以上～100%未満)	B
目標値の達成度(80%未満)	C

数値化共通項目(全館共通)

No.	視点	項目	指標	目標値達成値		評価	目標値の設定根拠
							特記事項
1	利用状況	入館者	一日あたりの平均入館者数	187	人	B	195人×96%
				168	人		入館者数(51,880人)÷開館日数(308日)
2	利用状況	常設展観覧者	一日あたりの平均観覧者数	72	人	C	86人×84%
				50	人		総観覧者数(15,429人)÷開館日数(308日)
3	利用状況	情報提供サービス	年間レファレンス対応件数	388	件	C	404件×96%
				238	件		
4	利用状況	インターネットの活用	年間HPアクセス件数+更新件数	147,971	件	A	37,556件×394%
				350,799	件		更新回数(85)
5	広聴・広報	事業情報の発信	対マスコミ情報発信件数+掲載件数	24	件	A	24件×100%
				41	件		掲載件数 37件
6	効率的運営	経営努力	観覧料および事業等収入額	1,633,409	円	C	1,701,468円×96%
				763,180	円		観覧料415,780円 その他347,400円

評価基準	
チェックリストのクリア数(8割以上)	A
チェックリストのクリア数(5割以上)	B
チェックリストのクリア数(5割以下)	C

必須項目(全館共通)

No.	視点	項目	指標	実施目標達成値		評価	実施目標の設定根拠
							特記事項
1	資料の収集・保管	資料の収集	収集方針に基づいた継続的な収集事業の実施	0	件	-	別紙チェックリストによる
				0	件		
2	資料の収集・保管	資料の保存・管理	適切な保存・管理の実施	17	件	A	別紙チェックリストによる
				17	件		
3	展示・教育普及	資料の活用	展示・公開・貸出等での資料活用状況	10	件	A	別紙チェックリストによる
				9	件		
4	展示・教育普及	常設展示	来館者に配慮した展示運営	10	件	A	別紙チェックリストによる
				10	件		
5	展示・教育普及	学習支援事業	参加者に配慮した事業運営	9	件	A	別紙チェックリストによる
				9	件		
6	連携・協働	県民との連携・協働	連携・協働の実施状況	7	件	A	別紙チェックリストによる
				7	件		
7	調査研究	調査研究活動	活動状況および成果の公開状況	10	件	A	別紙チェックリストによる
				10	件		
8	施設・アメニティー	快適空間の提供	施設・設備の改善状況	13	件	A	別紙チェックリストによる
				13	件		
9	施設の活用	施設の利活用	施設の利活用状況	6	件	A	別紙チェックリストによる
				6	件		

評価基準	
チェックリストのクリア数(8割以上)	A
チェックリストのクリア数(5割以上)	B
チェックリストのクリア数(5割以下)	C

館別独自項目

	視点	項目	指標	実施目標		評価	実施目標の設定根拠 特記事項
				達成度			
1	魅力ある 展示	企画展事 業の実施	企画展の実施 状況	6	件	A	別紙チェックリストによる
				6	件		
2	市町村等 との連携	市町村等 と連携した 事業の実 施	連携事業の実 施状況	5	件	A	別紙チェックリストによる
				5	件		
3	新規事業 への取組	新規事業 の実施	地域に遺る文化 財を活用した地 域振興事業	6	件	A	別紙チェックリストによる
				6	件		

年度内に取り組んだ重点事業、新たな取り組み等

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に遺る文化財を活用した地域振興事業 文化芸術振興費補助金(文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業)を利用した事業の実施。比企地区9市町村及び地域の3団体と実行委員会を組織し、シンポジウム「災害からみた中世社会」を実施した。また、文化財ガイドボランティアスキルアップ講座を実施し、ボランティアを育成した。 ・「地域に遺る文化財を活用した地域振興事業」と関連して企画展「中世の災難 合戦と災害」を開催した(12～2月)。また、これと関連した歴史講座「中世合戦と災害」(5回)を実施した(6月～10月)。 ・体験事業 子どもを対象とした体験教室(3回)、大人を対象とした体験教室「拓本入門」(2回)を実施した。 ・文化財めぐり 嵐山町・東松山市、長瀬町、ときがわ町・嵐山町の文化財を訪ねる事業を実施した(3回)。 ・地域と連携した事業 比企地区9市町村と連携した展覧会「比企の弥生・古墳時代」を実施した。彩の国・文化の森連絡協議会では、「夏チラシ」の印刷・配布や「文化の森まつり」を実施した。他に「時代まつり」(嵐山町)や3daysマーチ(東松山市)などが当館跡で実施された。
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携が図られ、情報発信、普及啓発機能が強化された。 ・館跡などの案内や体験学習補助のボランティアを育成し、館のサービスアップと学校団体利用の受入数を増やすことができた。

基礎データ

職員数 (学芸員数)	6人 (4人)	総予算額 (人件費を除く)	16,374,000円	職員一人あたりの県民人口	120.1万人
収蔵資料総点数	1,623点	事業経費 (上記の内数)	4,427,000円	利用者一人あたりのコスト (平成23年度)	293円
平成23年度 収集資料点数	0点	特定財源予算額 (うち観覧料収入)	1,734,000円 (742,000円)	県民人口に対する利用者割合 (平成23年度)	0.7%

※平成24年4月1日現在の埼玉県推計人口は7,204,353人である。

平成24年度 博物館施設 総合評価

施設名 嵐山史跡の博物館

	A評価	B評価	C評価
数値化共通項目	2	1	3
必須項目	8	0	0
館別独自項目	3	0	0
総合評価	86% 【44点 ÷ 17項目 × 3点】 × 100%		

自己評価総括

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・総合評価は86%であった。 ・歴史講座や文化財めぐりなどの多くの教育普及事業では希望者が多く、人気のある事業であった。参加者は抽選会を実施して選定したが、当選者の満足度は極めて高かった。 ・比企地区文化財振興協議会・埼玉城郭探訪会・彩の国 文化の森連絡協議会など多くの外郭団体との連携事業が実施された。 ・ボランティア ティーチャー、サポータークラブなど中高生から大人までのボランティアを受け入れ多くの成果を上げることができた。 ・高校生(2名)・大学生(1名)のインターンシップ、及び中学生(5名)の就業体験を積極的に受け入れた。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・入館者数の増加
対応の方向	<ul style="list-style-type: none"> ・メディア等に積極的に広報を行うほか、地域の市町村や集客施設等と連携してPR活動を行う。 ・新規ボランティアを加え、館跡などの案内や体験学習補助のボランティアを育成し、館のサービスアップを計ると共に学校団体利用の受入数を増やしていく。

評価委員総括

評価委員コメント

●地域と連動した事業展開は高く評価できる。限られた人員と予算の中でのこの実績は申し分ないものといえよう。

入館者数の増加は、こうした活動の継続のなかで、より専門的で新鮮な情報の提供を努めることで見てくると思われる。さらなる努力を期待したい。

●目標とした観覧者数と観覧料収入が高めに設定されていたためか、目標値に達しなかった点は残念であるが、ホームページアクセス件数や、対マスコミ情報発信件数は倍増を達成しており、少人数で運営している博物館としては、努力のあとが窺える。単に数値で評価されるもののみこだわることなく、展開事業の内容や参加者の満足度の引き上げに、引き続き十分な配慮をして欲しい。

●歴史講座、文化財めぐり等の教育普及事業については、関心・満足度の高さなど一定の評価が与えられるが、入館者数の減少を食い止め、増加に転じるよう、展示内容の工夫や積極的な学校団体受け入れなどの今後の取り組みに期待したい。

またレファレンス件数の落ち込みが気になるが、HP上での学芸員の専門分野や研究紹介などの情報発信が、レファレンス件数や利用者の増加につながることを期待したい。